



謹賀 鼠 新年

明けましておめでとうござい
ます。皆さまにおかれましては、
輝かしい新年をお迎えのことと
お喜び申し上げます。旧年中は
市政運営にご理解、ご協力を賜
りましたこと、心から感謝申し
上げます。

昨年を振り返ってみますと、
約三十年続いた平成の時代が終
わり、令和という新たな時代が
幕を開け、日本中が祝意に包ま
れた一年となりました。一方で、
台風や大雨による河川の氾濫や
住宅の浸水など、全国各地で大
規模な自然災害が発生した年で
もありました。被害に遭われた
方々に慎んでお見舞いを申し上
げます。

本市におきましては、幸いに
して大きな被害はありませんで
したが、あらためて防災対策の
重要性を痛感したところであり
ます。その取り組みの一つとし
て、本年、市内全域を対象とし
た防災行政無線の整備を完了
し、六月には各世帯に個別受信
機を無償貸与することとしてお
ります。これを契機としまして、
市民の皆様には、防災意識を更
に高めていただくとともに、日
頃からの備えをよろしくお願ひ

いたします。

日本は、これまでに経験した
ことのない人口減少・超高齢社
会に突入しております。人生
一〇〇年時代を見据えますと、
年齢を重ねても「健康」であり
続けることが一番の「幸せ」で
あり、この「健康」な状態を追
求することは、市民全体の社会
保障費の負担軽減や良好な家族
関係の構築など、社会的課題の
解決にもつながるものと考えま
す。そこで、本市では健康のま
ちづくりの推進を最重点施策と
位置づけ、関係機関や地域団体
等との連携・協力のもと、市民
の皆様の参画を促進しながら、
健康づくり運動を展開してまい
ります。

本市の人口は四万四千人を切
りました。今後も人口が減少す
ることは避けられません。しか
し、その減少を少しでも緩和
し、並行して、人口が減少する
中でもまちの活力を維持してい
くことが重要であります。現在
策定中の第二期でなんと小林総
合戦略においては、二〇六〇年
の推定人口を三万人、目指すべ
き将来像を「将来にわたって持
続可能な小林市」と定めており

一人ひとりがいつまでも
健康で輝けるまち小林市
市長 高原 義久

ます。希望する人が安心して子
どもを生み育てられる環境をつ
くる、転入・転出による人の流
れを変える、住み続けたいと思
うまちをつくるなどの基本目標
を掲げ、それらを実現するため
の具体的な施策を講じて、人口
減少対策に取り組むこととして
おります。

本年は、東京オリンピック・
パラリンピックが開催される年
であります。四月二十七日には、
オリンピックの聖火リレーが本
市においても実施されます。よ
り多くの市民の皆様が楽しんで
いただき、オリンピックの機運
が盛り上がることを期待してお
ります。

医療や福祉をはじめ、各分野
にさまざまな課題がございます
が、真に必要な投資と財政健全
化の両立を図りながら、全力で
市政運営に邁進してまいります
ので、皆様の変わらぬご理解と
ご支援をよろしくお願ひ申し上
げます。

本年が皆さまにとりまして、
素晴らしい一年となりますこと
を祈念いたしまして、新年のあ
いさつといたします。